

これまで京都市立病院に心不全で入院されたことのある、または、これから入院される患者さま・ご家族さまへ

京都市立病院循環器科では、「心不全入院患者における治療薬等の急性期導入の実態および予後に関する研究」を行っています。

【対象となる方】

2022年7月1日以後に当院にうっ血性心不全で入院した患者様

【研究課題名】

「心不全入院患者における治療薬等の急性期導入の実態および予後に関する研究」

【研究責任者】

京都市立病院 循環器内科 松尾あきこ

【研究の目的・意義】

我が国における心不全入院患者は高齢化とともに増加傾向にあります。また、心不全治療に対する新薬も登場し、国際的な学会のガイドラインを通じて、心不全の治療の標準化の整備も進んできています。しかし、実際の治療の現場では、患者様の年齢や家族などの家庭環境、経済状況などの影響を強く受け、さらには地域特異性の要素も加わり、その治療法は一様ではありません。そのため、個々に検討していくことが大事となり、そのためにも京都市立病院の心不全患者様の特徴や選択された治療内容、また、その治療法による予後など情報を収集し、解析していくことで、この地域の特徴的なことを踏まえての個別の対応、カスタマイズされた治療や入退院支援の介入方法などを検討していくことを目的としています。この研究の成果は、将来的に地域の心不全パンデミックにこの病院が適切に対応できることに繋がることを期待されます。

【利用する診療情報等】

施設 ID、入院年月日、性別、退院年月日、退院先、退院時転帰、身長、体重、要介護度、低栄養の有無、貧血の有無、主傷病名、入院契機傷病名、入院時併存症、既往歴、続発症、カテーテル治療や手術の実施の有無とその実施日、持参薬使用状況、入院時 ADL、退院時 ADL、入院 NYHA 心機能分類、入院時心エコー検査による左室機能、入退院時血液検査所見、退院時内服薬。退院前心肺運動負荷試験所見、退院後受診時の NYHA 心機能分類、退院時転帰、脳血管イベント、入院を必要とする心不全の再発、急性冠症候群、死亡の有無。

【研究の実施体制】

この研究は、当院のみで行う研究です。

【研究期間】

研究許可日より令和 10 年 3 月 31 日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所等の個人を直接特定する情報については厳重に管理し、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人を特定できない形で行います。

【この研究の結果について】

「心不全入院患者における治療薬等の急性期導入の実態および予後に関する研究」は、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありませんので、研究の結果を個別にお知らせすることはありません。

【問合せ先】

実施機関名	京都市立病院
所属・役職	循環器内科・部長
担当者氏名	松尾 あきこ
電話番号	075-311-5311（代表） 受付日時： 月～金 9～17時

【費用負担】

本研究は保険診療範囲内のため費用負担はありません。

「心不全入院患者における治療薬等の急性期導入の実態および予後に関する研究」はオプトアウトという方法を取っています。

オプトアウトとは、お一人ずつ文書で説明を行い同意を得る代わりに、情報（研究の概要）を通知又は公開し、研究が実施又は継続されることについて患者さんが拒否できる機会を保障する方法のことを言います。本研究に関しては当院ホームページに情報を公開しています。<https://www.kch-org.jp/#top>

